

令和4（2022）年度事業計画

1. 工学に関する科学技術の発展に資する試験研究及び人材育成に対する助成事業

（1）試験研究費助成

項目	助成額・件数	内容
分野指定型	40万円 2件 計80万円	募集対象：概ね40歳前後の若手研究者 募集分野：協創経営 数理情報 機械システム 募集締切：令和4（2022）年6月30日（予定） 申請書類：助成申請書 交付条件：実績報告書の提出、本財団の会報等において発表 審査・選考：本財団の審議委員会で行う
社会的課題 解決型	40万円 2件 計80万円	募集分野：SDGs視点での社会的課題解決に資する試験研究 募集締切：令和4（2022）年6月30日（予定） 申請書類：助成申請書 交付条件：実績報告書の提出、本研究後の展開計画、本財団の 会報等において発表 審査・選考：本財団の審議委員会で行う

（2）試験研究「外国旅費等」の助成

項目	助成額・件数	内容
分野指定	20万円 2件 計40万円	当年度予算執行：令和3年度募集のうち、採択予定の2件 （創経営 数理情報 機械システムから2件）
	<u>※令和4（2022） 年度募集・翌年 度執行</u> 20万円 2件 計40万円	募集対象：概ね40歳前後の若手研究者 募集分野：化学システム工学、材料科学、社会基盤 募集締切：令和4（2022）年11月30日（予定） 申請書類：助成申請書 交付条件：実績報告書の提出 本財団の会報等において発表 審査・選考：本財団の審議委員会で行う

(3) 人材育成助成

項目	助成(給付)額 件数	内容
奨学研究費 給付	50万円 2件 計100万円	<p>募集対象者：令和3年10月以降の工学系大学院博士後期課程進 学者で成績優秀、かつ勉学意欲のある者</p> <p>募集締切：令和4(2022)年6月30日(予定)</p> <p>申請書類：給付申請書、指導教員の推薦書</p> <p>給付金の使途：調査研究及び学会発表(国際会議等)の旅費、研 究に必要な機材等</p> <p>報告書：給付金の使用完了時に所定の報告書を提出 給付金の使途を明らかにできる領収書又はそれに代わ るものを保管すること。(提出を求めることがある。)</p> <p>重複申請：他の奨学金と重複の可</p> <p>審査・選考：本財団の審議委員会で選考 地域貢献等に関する事項も重視</p>
国際会議研 究発表支援 助成	総額55万円 数件	<p>募集対象者：工学系大学院博士前期・後期課程に在籍する学生</p> <p>助成金額：国又は地域により助成額を決定</p> <p>募集：令和4(2022)年7月1日～7月22日(予定)</p> <p>提出書類：助成申請書、指導教員の推薦書、研究発表を行う学会 等の概要を記載した書面</p> <p>報告書：帰国後、速やかに提出</p> <p>審査・選考：本財団の審議委員会でを行う</p>
人材育成等 事業連携費 (新規)	20万円	<p>趣旨：創業や新事業創出に結びつけるため、「ものづくり・こと づくり」と「アントレプレナーシップ」を学び、ビジネ スアイデアやブループリントづくり等に取り組む学生グ ループ活動に対して、大学との事業連携により育成・支 援し、将来の大学発ベンチャーや社内ベンチャーの人材 輩出に寄与する。</p> <p>募集対象等：今年度は初年度として試行年度と位置付け、来年度 以降につなげる。 大学工学部と協議し実施するもの。</p>

2. 工学に関する知識の普及啓発に関する事業

(1) 技術講演会等開催事業

項目	内容
技術講演会の開催	新潟大学工学部と共催し、県内自治体、企業・団体、教職員、学生向けに5テーマ・5回開催する ・ 建築学 ・ 協創経営 ・ 材料科学 ・ 機械システム ・ 社会基盤

(2) 情報の収集・提供事業

項目	内容	配布先
会報の発行 1月発行 300部程度	助成対象者の研究成果等	地方自治体、大学関係者会員、その他支援者

(3) その他 法人の目的達成に必要な事業

項目	内容	配布先
広報誌の発行 7月発行 1,500部程度	事業計画・予算 事業実績・決算 その他財団の運営状況	地方自治体、大学関係者会員、その他支援者